

## 2004 ICT活用プロジェクト夏期講座に参加して

高槻第一中学校 岡崎あかね

B・デジカメで撮った一枚の写真があれば、  
クイズムービーやおはなしムービーが簡単に作成できる！  
E・教育と子どもの自発性を引き出す工夫 —保護者の立場から—  
F・作ってみよう 3Dスライドショー

今年は初日にB、廣瀬 正彦 氏による、デジタルビデオ編集講座に参加、2日目に、E、Fと、小林 整 氏の講演と実技に参加させていただきました。どちらも、静止画から、動画へという研修になり、大変、密度の濃い、研修会でした。ありがとうございました。

まず、1日目。

Bの講座は、VideoStudio 8のソフトを使って、静止画を動画にし、部分から全体へ視点を移動させ、ものの形や、ものそのものを、体感させる取り組みでした。

動画は、一つ一つの静止画のつなぎで成り立っているというのは、頭ではわかっていましたが、今回の静止画の部分から、全体への構成練習で、もっと、生徒に何をわからせたいのか、自分自身ははっきりするようになりました。



2日目。

小林氏自身の生き方を含められた講演と、かおマウス誕生開発物語には、心を揺さぶられ力を得ました。障害があるから、何々できないと、いう考え方ではなく、何でもプラス思考で知識や経験と発想を練りあわされて創られた「かおマウス」は、障害を持つ人だけではなく、不可能を可能にするアイテムだと思いました。



午後のPowerPointの使い方にも、このような使い方があったのかと、目から鱗でした。特に、静止画を少しずつ、角度を変えて写真を撮り、ページに貼り付けて、矢印キーをクリックしてスライドショーの実行をすると、ものが回転して見えるのは、貴重な発見でした。矢印キーの→や←をクリックすると、回転している物体が、先に進んだり、戻ったりするように見えます。



3D制作は、専門的にやるなら、他にも、フリーソフト・シェアウェア ソフトを問わず、いろいろあり

ます。ソフト関連を扱っているサイトで容易に検索できます。

しかし、今回 PowerPoint で作れたのが、すごいとおもうのです。

私の学校では、パワーポイントのほうが総合的な学習の時間で使うことが多いので、専門的な内容のソフトを購入するよりも、あれこれ使える汎用性の高いものの方が、ニーズが高いのです。

一般的なソフトで、これだけ専門的なことができるのには、脱帽でした。ちなみに、まだわが校は Windows95 ですが、ちゃんと動きました。(画像はリサイズしました。)

PowerPoint があれば、作れますし、**創った物は PowerPoint が無い機種でも、ビューワーで見られます。**

小林 整 (Hitoshi Kobayashi) 氏によると、「ものが回転して見えるようにキーボードの矢印をクリックするよりも、『かおマウス』の方がスムーズで、マウスのスクロールを触ることによって、行きつ戻りつが簡単に出来、認識されやすいようです。

この『**擬似3Dアニメーティングによる立体情報の取得**』というのは、小林氏の前職の医用画像処理分野での手法を応用したもので、非常に理に叶った方法だそうです。おりしも、今テレビで「ぱらぱらアニメーション」のコンテストが話題になっていたりしますし、流行るかも知れませんね。

自分の手書きの絵や、愛着のある物の写真が、画面中で「命を得た」動きをするのは、やはり強い訴求力があると感じます。」とのことでした。

私も研修後、すぐさま回転台を探しに！

ありました！ **100円ショップで、テレビ回転台** (黒・直径 25 センチ・20kg まで)。その他、木製の直径 18 センチの回転台も 100 円。(キッチン用品みたいです)

2 学期は、いろいろ取り組みたいと思っています。

